

学校・家庭・地域の強い絆づくり

～「川中中学校区ふるさと協育ネット」3年次の取組から～

【下関市 川中中学校区】

地域の概要

下関市街地の北西部に位置し、西に響灘を望む風光明媚な地です。また、交通の便もよく、校区内には団地やマンションが多く、更に学校近隣には大型商業施設や金融施設が立ち並ぶなど、住宅地、商業地域として発展してきました。川中中学校を拠点として、中学校区内には川中小学校、熊野小学校の二つの小学校があります。

人口	19,856人	
世帯数	8,803世帯	
対象校及び 児童生徒数	川中中学校	672人
	川中小学校	600人
	熊野小学校	835人

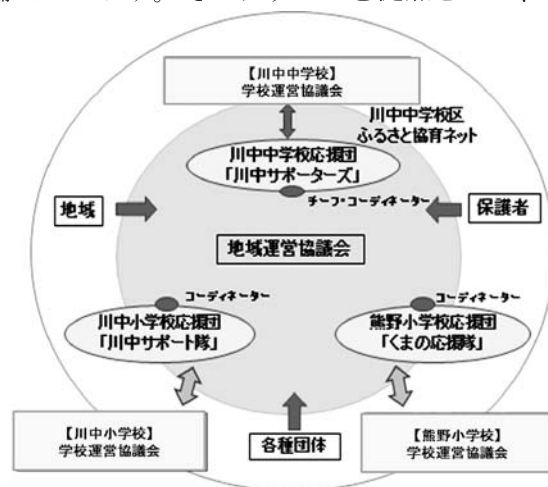
組織の内容

「ふるさと下関協育ネット事業」の委託を受けた「川中中学校区ふるさと協育ネット」は、平成24年度に立ち上がりました。学校・家庭・地域の強い絆をつくりだし、それぞれがもつ力を結集し、互いが協力しながら子どもたちの育ちや学びを支援していこうという目的で始まった取組は、本年度3年目を迎えました。委託開始当初は川中中学校の単独実施でしたが、昨年度から中学校と2小学校が互いに連携を図りながら、「地域ぐるみで子どもを育てる」形に近づいてきました。

拠点となる川中中学校は、平成22年に教科センター方式を取り入れた新しい中学校として移転、新築されました。建設時の重要なコンセプトとして「より地域にオープンな学校」を掲げ、校舎内には地域の方々が気軽に利用できる「地域交流ラウンジ」を備えています。そのラウンジを拠点として、学校応援団「川中サポーターズ」が活動をしています。

それぞれの小学校にも「川中サポート隊」「くまの応援隊」が組織されており、環境・安全整備支援、学習支援、体育・文化・芸術支援、学校行事や諸活動への支援など、年々活動の幅を広げています。

また、それぞれの学校の学校運営協議会の代表者で組織する3校合同の「地域運営協議会」が本年度から本格的に機能し始めました。中学校区全体で子どもを育てるという視点から「育てたい子ども像」を共有し、中学校のコーディネーターをチーフとして、それぞれの小学校のコーディネーターとも連携を図りながら、各校の学校運営協議会・学校応援団同士の交流や協働も深まりつつあります。



特色・重点的な取組

3年前にコミュニティ・スクールとしてスタートを切ったばかりのときには、それぞれの学校が独自にその運営に取り組んでいましたが、「3校の連携を強化し、中学校区で子どもたちの育ちを支援する組織をつくること」を重点的な取組として掲げ、昨年度末に「地域運営協議会」を立ち上げました。本年度はその会を学期に1回開催し、地域全体で子どもたちの育ちについて協議する機会を設けました。「日本一学びが好きな町」を川中地域の目標として、そのために学校・家庭・地域ができることについて話し合いを重ねています。また、昨年度に引き続き秋には中学校区で研修会を開き、「日本一学びが好きな町」の実現のための「熟議」を行いました。



主な活動の紹介

【川中小学校 託児ボランティア】

婦人会や民生委員を中心としたボランティアの方々が、参観日の授業参観の時間帯に未就学児の託児をしています。保護者からは「ゆっくり授業参観ができた」と好評で、ボランティアの方々からも「久しぶりに元気をもらえた」という声が聞かれます。保護者と地域を結ぶ貴重な時間となっています。



参観日の託児

【川中小学校 農業体験学習】

今年度、学校運営協議会委員の一人が学校近くの畑を借り受け、農業体験学習の一環としてJAと連携し、2年生がサツマイモを、5年生が落花生を育てました。植え方や育て方、収穫も農業指導員の方や地域の方に教えていただきました。子どもたちと地域の方のつながりも深まりました。

【熊野小学校 学習支援】

学校からの依頼があり、「くまの応援隊」が1年生の詩の暗唱チェックをしました。児童一人ひとりが応援隊の前で詩を朗読し、暗唱できたかどうかを判定します。暗唱に合格したら合格シールが貼られ、児童の努力を讃えることで、意欲を高めることができました。



ミシンの使い方を助言

【熊野小学校 実習支援】

5年生が家庭科の実習で「ナップザック」を作る時、初めてミシンを扱う子どもたちに「くまの応援隊」の方がいろいろと助言したり、ミシンの準備や後片付けを手伝ったりしました。児童も教師も応援隊の支援に感謝していました。

【川中中学校 夜間中学】

地域の方を対象として、中学校が公開講座を開いています。中学校の授業がどのようなものかを体験していただくとともに、中学校に来ていただき、学校の様子を知ってもらいたい良い機会にもなっています。



夜間中学

【川中中学校 放課後サロン】

「川中サポーターズ」が月曜日の放課後に希望する生徒を募り、ふれあい活動を行っています。自主学習や宿題の手伝いをしたり、一緒に手芸をしたりしながら、放課後を楽しくゆったりと過ごしています。

成果と課題

「地域運営協議会」が組織されたことで三つのコミュニティ・スクールが同じ方向をめざして、それぞれの学校ごとに学校運営を行うことができるようになりました。特に「熟議」において、学校を軸とした「日本一学びが好きな町」のイメージを共有したことは、コミュニティ・スクールを中心とした今後の川中中学校区のまちづくりにつながっていくのではないかと考えています。

また、そのような意味からも、今後それぞれの学校が自校の取組を更に充実させていくとともに、地域貢献という視点からも、協働してできることを模索、整理し、実施していきたいと考えています。

今後の取組

本年度の「熟議」で提案された多くのプロジェクトを「地域運営協議会」で検討し、できるものから一つずつ実践して行く予定です。来年度は、プロジェクトで提案された「あいさつ運動」に地域全体で取り組んでいく予定です。今後も3校合同で「川中中学校区ふるさと協育ネット」をより充実させ、子どもたちの豊かな育ちや学びにつなげていくとともに、学校応援団や地域の方にとってもメリットのある地域に根ざした活動を展開していきたいと考えています。